

# 新たな町内会活動創造の為に！！

全住民参加型の運営／持続可能な地域社会の実現

## 変えよう、小松町内会！！未来の為に！！



活動の見える化 と 事業の再構築

小松一二三丁目町内会 役員会

2021年4月



## はじめに

近年の町内会に求められる活動は、従来の地縁型の人と人の繋がりを基にした、親睦や地域の伝統の踏襲、行政の末端組織としての活動から、産業構造の変化、高度情報化社会の進展や、少子高齢化等、その時代の変化に対応した活動が求められています。

しかし、小家族化の進行、住環境の変化、その組織率の低下等により、中々、全住民へ満足いくサービスの提供が難しくなっていることも事実です。

その大きな原因に「町会組織の硬直化、組織変革の未熟さ」が挙げられます。町内会役員の手数の減少や、役員の高齢化。更に、住民個々の様々な価値観から発生するニーズを明確に捉え切れずにいる等の問題が発生しています。

しかし、近年の東日本大震災や、新型コロナウイルス感染の拡大等、その住民を脅かす事象への対応に、町内会組織の対応が評価されている一面もあります。

そこで、小松町内会としての「新たな町内会活動の創造」の為、その組織変革と事業の見直しを早急に行い、全住民参加型の、世代を超えた、持続可能な豊で幸せな地域社会の実現を目指すべく、以下の考察と、提言を行いたいと思います。

その趣旨をご理解頂き、皆様でご検討頂ければ幸いです。



# 目次

1. 現在の町内会のイメージは？	4
2. 現状の問題／課題は？	5
3. 町内会活動の目的とは	6
4. 新たな地域コミュニティの姿とは？	7
5. 小松町内会のあるべき姿＝グランドデザインと具体的イメージ	8
6. (参考) 小松町内会の将来像	9
7. 町会活動の具体的内容 (2つの側面-1)	10
8. 町会活動の具体的内容 (2つの側面-2)	11
9. 何故、そのような新たな事業の必要性が出てきたのか？	12
10. 求められる、新たな町内会とは？その実現の為に必要なものとは？	13
11. 活動の見える化と事業の再構築の為に3つのポイント	14
12. 新しい町内会活動の為に2つのプロジェクト	15
13. 組織図	16



# 1.現在の町内会へのイメージは？

- ・何をしているかわからない。
- ・市報の配布受託だけなのに役員が多すぎる。
- ・会費が高すぎる。
- ・お年寄りばかりで、活気がない。
- ・役員が、昔からの住民だけで、入っていけない。
- ・いつも、公民館で酒盛りをしている。
- ・何を相談したらいいかも解らない。
- ・どんな基準で役員を選んでいるのかわからない。
- ・祭や、会費の徴収等のお手伝いの負荷が大きい。
- ・そもそも町内会がある意味が、解らない。
- ・ボランティアなのに、手当が出ているのはおかしいと思う。
- ・一部の人の楽しみだけにイベントをやっている。
- ・お金の使い道が不透明。
- ・誰が役員なのかわからないので、相談できない。
- ・市報等も含め、IT化が全く進んでいない。
- ・役員が男性だけなので、女性の参加しにくい。意見や要望も言いにくい。
- ・他の組織との連携がない。
- ・回覧以外の情報の発信が一切ない。



## 2.現状の問題点／課題は？

- ① 情報化社会の進展は、地域との共同の必要性を減少させる。
- ② 小規模世帯の増加(大家族から核家族)による、世代間コミュニケーションの阻害が生まれている。
- ③ 多様な要望をもつ各世代の住民への、様々な要望への対応が求められる。
- ④ (一人親世帯、共働き世帯、定年延長、高齢化、貧困等の為)町内会行事への参加が難しくなり、組織率の低下を招く。
- ⑤ 組織率の低下が、行政の求める「協働の促進」を阻害する。
- ⑥ 高齢者(世帯)への生活の見守りが必要になってきている。
- ⑦ 認知症での徘徊に対する対応が必要になってきている。
- ⑧ (一人親や共働き世帯の増加による)子どもの安全の確保／見守り。
- ⑨ (周辺住民の安全確保のための)空地／空き家の管理。等々

祭りや餅つき等の地域行事の主催や、行政組織の末端機能を持つ従来型の町内会活動以外に、災害対応や高齢者対応など「新たな問題解決の為の組織活動」を求められています。では「新たな町内会活動」とは、具体的にどのようなものなのでしょうか。次項以下でその具体的活動を明確にしていきたいと思えます。



### 3.町内会活動の目的とは

地域に居住する住民の共助の精神に基づき、住みよい地域社会を創っていくこと。様々な地域の問題を汲み上げ、その解決のために、行政や他組織との橋渡しとなる事。また、その地域の組織風土を醸成する事。



新たな地域コミュニティの必要性

- 世帯内の多世代間コミュニケーションの減少
- 近所付き合いの減少
- 少子高齢化



地域での解決が  
求められる



## 4.新たな地域コミュニティの姿とは？

- ① 地域の生活者を、地域で守る  
⇒地域の安全を守る。人は一人では生きていけない。
- ② 行政への地域の要望を伝える  
⇒より効率的に行政と協働し、地域の声を実現する。
- ③ 一過性ではない、地域の繁栄を創る  
⇒人と人の繋がり、持続可能な発展を創る。

## 5.小松町内会のあるべき姿 ＝グランドデザインと具体的イメージ



# 「笑顔とあいさつ、 みんなの町小松」

- 全住民がその運営に関わっている！
- 世代を超えたコミュニケーションがある！
- そこで成長し、そこで豊かに暮らす！





## 6.(参考)

### 小松町内会(公民館)の将来像



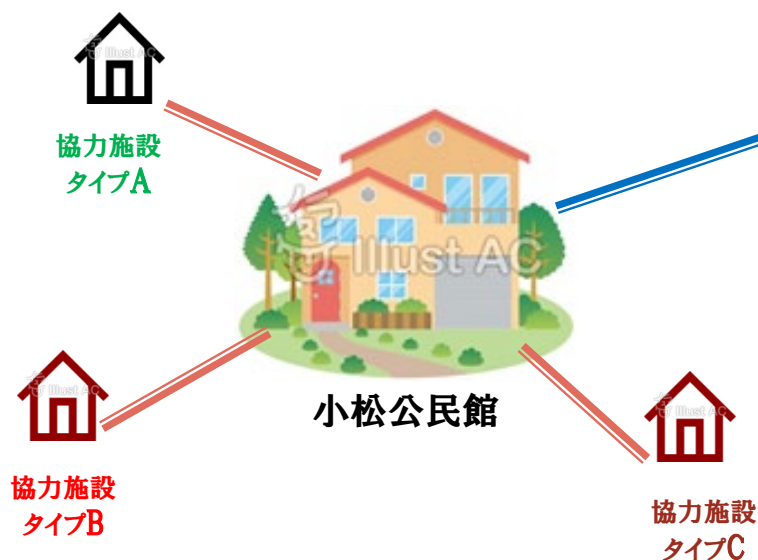
小松町内会  
(小松公民館)

- 地区内コミュニケーションの活性化と、安心・安全な街づくりの推進母体。
- 地区内各種行事の実施による、地域の活性化促進。
- 市政の身近な伝達組織。
- (最も身近な)住民の要望実現のための圧力団体。



土浦市総合支援チーム  
(各部署合同)

情報ネットワークを活用した、  
連携システム が全体を支援



- 上記施設(組織)の活動を補完する、タイプの異なる協力施設
  1. タイプA = 各地域が運営する集会所
  2. タイプB = NPO法人等が運営する、協力施設
  3. タイプC = 個人が運営する町カフェ的な商業施設※上記施設は「空き家」の効率的な活用を促進し、  
高齢者への身近な相談の場の提供にも役立つ



## 7.町会活動の具体的内容 (2つの側面-1)

(従来型町内会活動)

- ① 地域の親睦を深める
- ② 祭礼等地域行事の実施
- ③ 防犯事業
- ④ 衛生美化活動
- ⑤ 健康増進事業
- ⑥ 寄付金の徴収
- ⑦ 行政との連絡、事業受託



## 8.町会活動の具体的内容 (2つの側面-2)

(近年必要となった活動)

- ① 防災事業
- ② 子どもの健全育成への対応
- ③ 高齢者への対応
- ④ 独居者への対応
- ⑤ 安全見守り活動
- ⑥ 最適な住環境構築への対応



## 9.何故、そのような新たな事業の必要性が出てきたのか？

従来、行政が行っていた事業を、より身近な場所で、きめ細やかに行う必要性が出現。

多人数世帯の中での自己完結型の生活様式（高齢者支援、保育や子育て 等々）から、小家族化の進行により、親への負担が大きくなり、単独世帯での完結が難しくなっており、その一部をアウトソーシング（行政や事業者、一部は地域へ）せざる負えない状況が発生している。



## 10.求められる、新たな町内会とは？ その実現の為に必要なものとは？

「地域の様々な問題や課題／要望を、包括的／総括的に管理し、解決のための活動を主体的に行う組織。その組織の中に、その地域の全ての自治組織を統括する。更に、その情報を一元管理し、一体的に、全住民へ発信する機能をも持つ」

このような定義には、異論があるとは思いますが。しかし、全ての住民の方々の参加を求め、全ての方々の要望をかなえるべく努力する組織である以上、その地域での「最上位であり、唯一の組織」である必要があると考えます。



今、その実現の為に必要なこととは？

活動の見える化 と 事業の再構築

# 11.活動の見える化 と 事業の再構築 の為の3つのポイント



最大の問題点は 活動が見えない！！

※「1 現在の町内会のイメージ」より

- 1 情報発信力の強化  
⇒今一番に取り組むべきポイント
- 2 事業の棚卸
- 3 組織の変革



## 12.新しい町内会活動の為の2つのプロジェクト

情報発信力の強化こそが、課題解決の第一歩！！

### ①情報発信力強化プロジェクト

- I. 会報の発行
- II. Web化の検討
- III. IT化の促進

### ②事業再構築プロジェクト

- I. 事業構造の再構築
- II. 組織構造の再構築

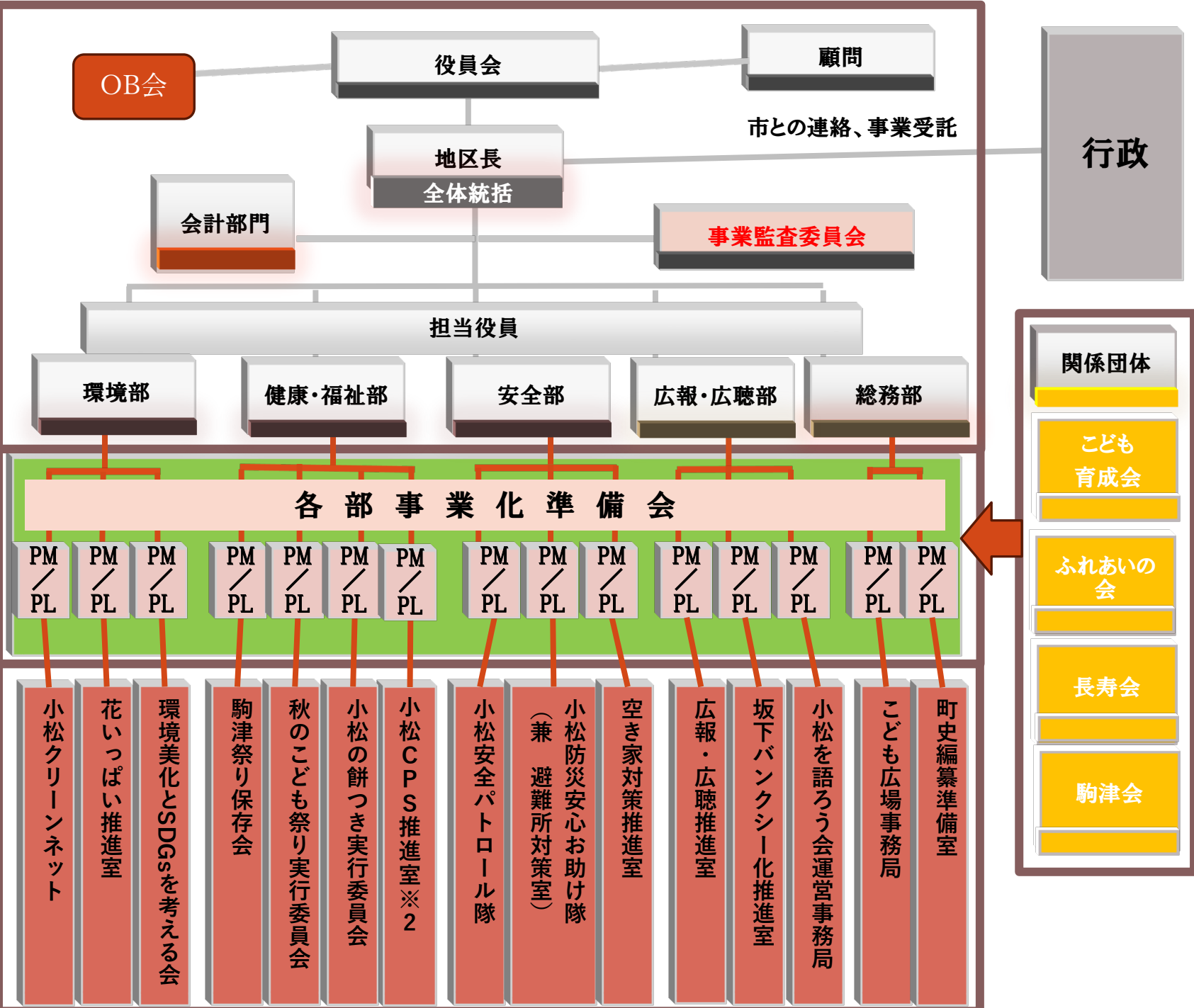
# 13.組織図

**常勤役員**  
(非常勤監査委員、  
OB会を除く)

**非常勤役員**  
(担当事業にのみ参加)

**町会活動お助け隊**  
(各プロジェクト専任)

※プロジェクトは参考として記載しました。今後の皆さんからの提案で運営していきます



※1 PM=プロジェクトマネージャー PL=プロジェクトリーダー

※2小松CPS推進室=小松チャイルドセーフティープラン推進室